



ルーテル学院だより

No.151
2022.9.1

http://www.luther.ac.jp/
発行 ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校
〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20
TEL: 0422-31-4611 FAX: 0422-33-6405
発行人 石原 基夫

授業探訪 「社会福祉と国際協力」



原島 博教授

〈専門分野〉
国際ソーシャルワーク
〈主要担当科目〉
社会福祉と国際協力、多文化ソシヤルワーク、ソーシャルワーク
演習他

今回は、「社会福祉と国際協力」について、ご紹介します。

授業では何を学べますか？

「社会福祉と国際協力」では、第二次世界大戦後から今日に至るまでの国際社会の関係のなかで、国際協力がどのように実践されてきたかについて学び、人権レジームの時代から取り残されずに生きることを実現するための国際協力のあり方を考えることをねらいとしています。国際協力は、第二次大戦によって疲弊したヨーロッパ諸国への米国による復興支援から始まり、1960年代には、欧米の植民地主義から独立したアジア、アフリカ諸国の経済的自立のための支援へと発展した歴史があります。国際協力は、経済開発を中心とする協力から人間を中心とする協力へ変化してきており、人々のニーズや課題解決のために採用された国際協力のアプローチにつ

いて考察します。近年、私たちの生活にも普及してきた国連の持続可能な開発目標（SDGs）であげられている地球社会の課題テーマに合わせ、国連、政府、NGOによる国際協力の取り組みについて理解を深めていきます。

授業では何を大切にしていますか？

私たちが国際社会につながっていることを認識できるような授業を心がけています。その上で、発展途上国が直面している課題は、それらの国々の政府や国民だけでは解決できないことも多く、日本をはじめとする先進国が課題解決に協力することの意義を伝えています。特に、国際協力の実際が理解できるように、アクターである国連、日本政府、NGOがそれぞれの強みを活かして官民が連携することの意義を伝えていきます。そのことを通して地球規模の社会課題に目を向け、国際協力についての自分の考えを持つことを大切にしています。

どのような形式で学ぶのでしょうか？

授業では必ず「開発」「発展」とは何かを問いかけることから始めています。開発を進めようとして何を優先するかについてワークシートを使い、5人程度のグループでお互いの考えをディスカッション形式で共有します。お互いの考えや意見を交わし、双方向から学んでいます。講

義では、貧困、ジェンダー、児童労働、環境課題などを理解できるように事例や視聴覚教材を活用しています。また、国際協力の現場で働いている方をゲストスピーカーとして授業にお招きしています。今年度は、国際協力に従事している本学の大学院生やJICA主催の海外協力隊としてエジプトで2年間、幼児教育やシリア難民支援に携わってきた卒業生に話してもらいました。このような授業形式は学生が自分の将来のキャリアと重ねて合わせて学ぶことができます。最終授業では、学びの成果として、学生には「私にとっての国際協力とは？」について2分間スピーチを課題としています。

国際協力とはどのようなことでしょうか？

国際協力は、紛争・戦争や災害など被災した人々に対する人道支援や、貧困、保健、教育をはじめとする社会開発課題を解決するための国境を越えたアクションです。とても広い分野に渡りますが、世界中の人々の尊厳や権利が守られ、誰一人として取り残さない社会を地球のあらゆる場所で実現することをゴールとしています。世界のキリスト教系NGOが隣人愛の実践として国際協力を進めてきましたし、これからはソーシャルワークや心理の専門性が活かされることが期待されています。

実習報告

「より良い支援のために」

3年 生駒 芹佳

私は社会福祉士の受験資格のため、児童福祉の拠点である児童養護施設で30日間（240時間）の実習を行いました。実習では、子ども達がいない時間帯は主に家事、子どもがいない時間帯は積極的に子どもと関わりました。毎週行われる会議にも参加させていただき、多職種連携の大切さ、職員間の情報共有の方法や重要性について学びました。

掃除・洗濯を行う中では、なぜハウスキーパーではなく職員が行うのか考えさせられました。職員が家事を行うことで子ども達と信頼関係がより強く

「社会福祉・教育・司法・産業労働等の対人援助の現場で働くひと向けのスキルアップ講座」

コミュニティ人材養成センター 大曲 睦恵

コロナウイルスの感染拡大の収束がみられない中にあっても、社会福祉・保健医療・教育・司法・産業労働等の対人援助の現場では人々への支援が続けられています。

ルーテル学院大学コミュニティ人材養成センターでは、昨年度より「Pea i x」というイベントプラットフォームを活用し、こうした現場で働く方向けのスキルアップ講座をZoomを利用したオンラインにて企画・開催しています。

7月5日（火）は今年度の第1回目の講座「重層的支援体制整備事業創設の背景と社会福祉協議会への期待」のテーマのもと、和田敏明名誉教授を講師に迎え、福島喜代子教授進行により開催されました。重層的支援体制整備事業は困難・生きづらさが多様化・複

生まれることや、物の位置や衣服の様子で子どもの変化やサインにいち早く気づくことができます。心の乱れが生活の乱れにつながって行くこともあるので、今後どのような支援が必要で適切であるのか検討していくことができ、より良い支援につながると学びました。

食事は朝昼夜と毎食作りました。子どもは好き嫌いや味の好みそれぞれ違います。苦手な食材を私に打ち明ける際にはその感情を受け止め、次回からどのようにしたら食べられるか一人一人と向き合い話をしました。調理の工夫の中からより良い信頼関係が築けたのではないかと感じています。

自立支援援助計画を立てる際、「最終的に子どもがどのように成長してほしいかを考え、3年後、5年後にできなければならないこと、そのために今やるべきことは何であるかという一

雑化する現代社会において、すべての人びとのために専門性や政策資源を活かし、創意工夫が生まれやすい環境を整えるという目的で創設されたものです。講義では、こうした背景や、ひきこもり者への支援を含め、本人だけでなく所属する世帯に着目し、「地域課題」として支援するという体制に向けてその難しさや示唆を豊富な事例とともにお話しいただきました。当日は北海道から九州まで全国各地より25名の参加者があり、講義後のフィードバックからは、皆さんがそれぞれの現場でいかせるヒントを得られた様子が伝わってきました。

連の流れを学びました。子どもや保護者の意向を十分に反映することや、抱える問題点と照らし合わせながら作成することは難しく感じました。しかし多くの専門職が関わり、何度も会議を重ねることでより良い適切な支援が施されていると感じました。

今回の実習では子ども達に寄り添い、多くのやりがいを感じながら実習に取り組むことができました。今行っている支援は誰のためにあり、なぜ必要なのかを逐一考え行動している職員と接する中で、私は最善の支援のために努力し続けることが大切であると学びました。今回の実習で得た学びを通じて、今後は社会福祉士資格取得のためにより一層勉学に励んでいきたいと思っています。



人に、物語の。

本講座は7月30日（担当：大曲助教）、9月17日（担当：山口教授）、10月19日（担当：高山教授）、日程は未

深い学びの場として 選んだルーテル

2年 稲富紗耶香

私が福祉に興味を持ったのは今思うとかなり幼い頃からだっただけです。重度の知的障害を持つ姉の介護を行っていたことが最も大きな理由です。姉のような障がい者がより過ごしやすい社会を作りたいとは思ったものの、なかなか理想の大学が見つからなかった時に親戚の紹介で知ったのがルーテルです。この学校でなら自分が将来叶えたい目標を実現できると思い、受験を決めました。将来の目標が明確に定まってお

り、それを誰かに知ってもらいたいという目標が明確に定まっていたので、入学して早一年。今は自分のやりたいことが明確に定まって将来の目標を語っている私ですが、高三の春頃まで志望の大学すら確定していませんでした。忙しい毎日を過ごしていただけなのに、いきなり自分の将来を決めるなんて無茶苦茶な話です。まず、学力のことは一歩置いておいて、まずは自分の好きなこと、興味のあることが何かを考えてみて下さい。興味のあるものでないし長続きしませんし、つらいだけです。そして障害、高齢、子どもなどの福祉の分野に興味のある方、社会福祉士や臨床心理士、公認心理師などの資格を取りたい方。ルーテルでは十分すぎるほど学ぶことができますよ。興味のある方はオープンキャンパスなどにぜひ参加してみてください。

総合型選抜合格体験記



多様な受験方法で 理想の学生生活を

2年 加藤 恵

私は中学生のころから心理学に興味があり、大学は心理学が学べて資格も取れる大学に行こうと思っていました。また先生との距離も近い少人数の大学で勉強したいと思っていたのでそういった条件に合うような大学を考えていました。初めは違う大学を検討していたのですが、ルーテルを知り調べてみるとまさに私の理想の大学でした。90人という少人数の大学で公認心理師、臨床心理士の資格に対応しており専門性の高い学びができる大学であると感じたため

す。受験方法も自分が3年間力を入ってきたことや学ぶ熱意がアピールできると知り総合型選抜を選びました。総合型選抜ではキリスト教会推薦型を選び、受験しました。高校3年間の教会の活動経験を活かせる受験でした。入試課題は高校の先生に何度も添削していただき準備していききました。面接も先生との練習やイメージトレーニングを何度も行いました。

私がルーテルに惹かれた理由は少人数であることや総合型選抜があるといったことだけではありません。もう一つの理由は一般選抜スカラシップ型で心理6年一貫特進生制度というものがあったからです。この制度は在学中に基準以上の成績を修

めることを条件に、ルーテルの大学院臨床心理学専攻へ優先的に入学することのできるものです。私はこの制度を使って、大学でしっかりと学びを修めて大学院へと進学したいと思えました。この制度は、他の受験方法で合格しても受験できるので総合型選抜で合格を頂いた上で受験しました。そして無事心理6年一貫特進生として採用していただきました。

このようにルーテルにはさまざまな受験方法があります。皆さんにもオープンキャンパスなどで受験方法やルーテルの雰囲気を知っていただきたいです。

年内入試日程

選抜方式	区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
総合型選抜 授業体験型 活動アピール型 キリスト教会推薦型	I期	10/3(月)~10/13(木)	10/22(出)	11/1(火)	11/2(火)~11/17(木)
	II期	11/1(火)~11/17(木)	11/26(出)	12/1(木)	12/2(金)~12/15(木)
	III期	11/28(月)~12/12(月)	12/17(出)	12/23(金)	12/26(月)~1/13(金)
学校推薦型選抜 ミッションスクール推薦型 指導者推薦型 指定校推薦型		11/1(火)~11/17(木)	11/26(出)	12/1(木)	12/2(金)~12/15(木)
社会人入試(1年次、編入学) 編入学入試 留学生入試(1年次、編入学)	I期	11/1(火)~11/17(木)	11/26(出)	12/1(木)	12/2(金)~12/15(木)

・入試要項はルーテル学院大学ホームページから各自ダウンロードしてお使いください。
・入試に関するお問合せ 電話 0422-32-2949 メール koho@luther.ac.jp

オープンキャンパス (事前申し込み制)

9月25日(日) 模擬講義
「あつてよかったこんなサポート
～障がいのあるなしに関わらず、誰もが暮らしやすい地域とは～」
高山由美子 教授
上村 敏文 准教授

12月3日(土) 模擬講義
「ソーシャルワーカーって何するの?」 浅野 貴博 准教授
「臨床心理学への招待」 植松 晃子 准教授

その他 大学紹介、個別相談 (事前予約制)、入試説明会などがあります。
詳細はホームページでご確認ください。

礼拝委員とチャブレンススタッフにインタビュー

礼拝委員、チャブレンススタッフとは?

- ・礼拝委員は大学で行われる礼拝のために、チャペル班、週報班等に分担して活動している委員会です。
- ・チャブレンススタッフは礼拝以外のお手伝いもしています。
- ・委員会に入らなくても教養を学べます。
- ・チャブレンに声をかけていただければ、ルーテル教会に行っているのぞき加しました。

- ・礼拝に出るとき礼拝に関わる委員会があることを知り入りました。一年生のときにパイオルガンの授業を受けていたのですが、先日の礼拝ではパイオルガンを弾くことができました。
- ・入学式や授業で委員についてお話を聞き、礼拝に学生も主体的に関われることを知って入ろうと思いました。

現在の人数や活動の状況を教えてください。

- ・今は20名くらいで、週2回、礼拝の手伝いをしていきます。
- ・活動していて良かったなと思うことや難しさを感じるのとはどんなことですか。
- ・CCC(キャンパスキリスト教センター)に行けば誰かに会えて、み

- ・礼拝がある大学だからこそ学べることや感じるものがたくさんあると思います。ルーテル学院大学に興味のある皆さん、一緒に学びましょう。
- ・ミッションスクールと違って、イメージがわかないという方もいるかもしれませんが、そういう方はぜひオープンキャンパスに参加してみてください。(インタビュー)
- ・協力してくれた皆さん
3年 高濱遼太さん
1年 宮澤真里さん
2年 田中碧さん



チャペルの前で
協力してくれた皆さん
3年 高濱遼太さん
1年 宮澤真里さん
2年 田中碧さん

保護者会報告

学生支援センター長 岩崎 真澄

オンラインでの保護者会が6月25日(土)に開催されました。開会礼拝に続く全体会では石居学長より、現在のハイブリッド型の授業形態から後期は全面対面で授業が実施されること、2023年度からの教学改革の方針について等の説明がありました。

続いて5コースの紹介、大学院の専攻の紹介が行われました。休憩後はコースごとに分かれ、カリキュラム、資格、就職等に関しての説明と質疑応答を行い、教員と保護者のみなさまとの懇談の時間をもちました。

キャンパスライフを楽しめていないことへの心配の声も聞かれました。感染状況はまだ予断を許しませんが、学生の皆さんが充実した学びと学生生活を送れるようになることを願い、来年の保護者会はキャンパスでみなさまをお迎えしたいと思います。